さんだボラセン風だよ

vol.18 2012年 2月号

三田市社会福祉協議会
ボランティア活動センター
〒669-1514 三田市川除 675
三田市総合福祉保健センター内 1F
TEL079-564-0410 Fax 079-559-5945
広野本庄地域福祉支援室
〒669-1316 三田市上井沢 28 番地の 1
三田市広野市民センター内 1F
TEL079-560-5822 Fax 079-560-5823
URL http://www.sanda-shakyo.or.jp/
E-メール vcen@sanda-shakyo.or.jp

備えあれば憂いなし。
いつ起こるかわからないのが災害。
あなたはその時、何ができますか？

災害時、いのちを守るために必要な備えは、非常袋や家財の転倒防止だけではありません。
東日本大震災や阪神淡路大震災などで救われた命の多くは「共助」の力によるものでした。
いのちをつなぐためには、一人ひとりの非常時に対する日頃の積み重ねが大切です。

ボランティア ステップアップ研修会

心肺蘇生法・AED について

～H23 年 11 月 12 日(土)/12 月 10 日(土)～

ボランティア活動センター
登録ボランティアのみなさん

三田市総合防災訓練 ～H24 年 1 月 22 日(日)～

福祉有償移送運転支援ボランティア
「キャメル」

災害ボランティアセンター運営支援ボランティア
「災福サロン」

New！

本庄地区　ささえあい隊

まごの手活動養成講座

「買い物に行きたいけど、お店が遠いな・・・」

「ゴミステーションまでゴミを持って行くのが重たいな・・・」

「今は自分でできているけど、この先不安かも・・・」

そんな**“日常生活の中でのちょっとした困りごと”**を地域の中で支えあいながら解決していくことを目的に、本庄地区ささえあい隊「まごの手活動」養成講座を開催しました。

▲ 高齢者擬似体験中

値段や賞味期限が見えにくい！カゴを持ち上げるのも大変・・・

▼ みなさんで話し合い

最近は、近所付き合いが減っている。ゴミ出し・買い物・電球の交換など、制度だけでは十分に対応しきれないこともある。私たちに何かできることって？

▼他市での活動も参考に

活動者も利用者も安心できる方法が大切！

◎ 講座を通して・・・

地域でのつながり・支えあいの大切さを改めて実感される声や、自分たちにできることをやっていこうという声がたくさんありました。そして、本庄地区では多くの方が不便に感じている**「買い物」**について、付き添いや代行のお手伝いをする、新たなボランティアグループをつくることになりました。

一人で買い物に行くのが大変と感じている方のお手伝いができたら、きっと喜んでもらえる！ステキな笑顔を見られる！そして、より住みよい本庄地区にしていこう！そんな想いの実現に向けて、現在は活動開始のための準備を進めておられます。

地域ボランティア
ほのぼの広野

広野地区にお住まいの高齢者の方が地域で楽しく暮らせるように、交流できる場を作ったり、地域の中でちょっと困っている方のお手伝いをされています。

この日は、自宅の庭や溝の中に落ち葉がたまって困っておられた高齢者の方の自宅を訪問されました。一緒に掃除をしてすっかりキレイになった後は、ホッと一息、お茶を飲みながら楽しくおしゃべりをしたり、クイズで頭の体操をしたり楽しいひと時を過ごされました。

高齢者の方は「庭の掃除はヘルパーさんにはしてもらえないから本当に助かるし、ボランティアの方が来てくださるのが嬉しい。また来てね！」と喜んでおられました。

また、毎年広野市民センターで開催されている花の寄せ植えづくりにも、多くの高齢者の方が参加され、和気あいあいとお互いの作ったものをほめ合いながら、満足そうな笑顔がいっぱいでした。

冬の寒空の下でも、動くと体が温まり、「ありがとう」の言葉で心もポカポカ。ほのぼの広野という名前がピッタリだと感じました。

あなたの身近なところでも・・・

たくさんの　支え合い　助け合い

れんげ草の会

平成８年から活動を始められて、今年でもう１６年目！毎週木曜日に武庫が丘と狭間が丘の高齢者の方に手づくりのお弁当を届けられています。

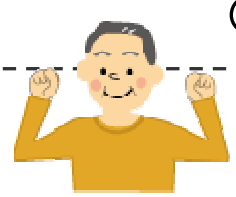
たっぷりの野菜、食べやすい大きさ、薄めの味付けなど、高齢者の方に合わせた工夫をして調理され、「市販のお弁当ではこうはいかない！」とおっしゃっていました。また、お弁当を包む紙や箸袋には１枚ずつ心のこもった絵が描かれており、それらを大切に保存されている方もいらっしゃるそうです。高齢になってからのひとり暮らしでは、毎日の料理を作るのが大変で、このお弁当を本当に頼りにされていたり、届けてもらったときには嬉しくて、ついおしゃべりが止まらないこともあるという話から、れんげ草の会が生活のなかで欠かせない存在になっているのだと感じました。

また、「活動を通して、メンバー同士が調理方法をお互いに教えあったり、近くに住んでいても普段なかなか出会わない人と出会えて、横のつながりもできていいんです！」とみなさんのワイワイと楽しそうな様子が伝わってきました。

Information

お知らせ

さんだボラセンだより
２０１２年　２月号

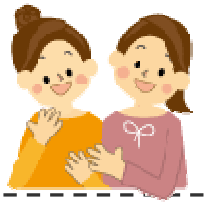


「地域デビュー準備術」

～団塊の世代支援事業～

あなたの輝く
ステージを見つけに行きませんか？

と　き：3月18日（日）１０：３０～１２：３０
ところ：まちづくり協働センター　多目的ホール
対　象：団塊・シニア世代と定年退職前にセカンドシーズンを考えておきたい、概ね５０才以上の方
内　容：ボランティア・市民活動等をブースで紹介
団塊世代のリアル告白／実践者とテーブルトーク
Dankai カフェ／手づくりおもちゃの体験コーナー



募集中

あすなろ腹話術サークル「ニコニコ」
腹話術入門講座

と　き：3月3日、１０日、２４日（土）１４：００～１６：００
（全３回）
ところ：三田市総合福祉保健センター　2F 講座室
対　象：腹話術・ボランティアに興味のある方、講座終了後ボランティアとして活動できる方希望
参加費：1,000 円（３回分・テキスト代含む）
申込み：２月２０日（月）までにボランティア活動センターへ（先着３０名）

～夢と希望と笑いの福配便～